



樺細工で生まれ変わった 奇跡のピアノ コンサート

2023
Vol.12

4/22(土)

伊藤 伸 ピアノ

ワルツop.70-2 ショパン
春の歌 メンデルスゾーン
邦人作曲家による小品7曲

ほか

4/23(日)

廣田 ちひろ ピアノ

版画より「塔」C.ドビュッシー
3つの小品「1902年の夏のアルバム」
作品41 第1番「物憂さと待望」
M.リセンコ

ほか

4/26(水)

北嶋 奏子 ヴァイオリン・ビオラ
安藤 満里 クラリネット
大谷 祥子 ピアノ

魅惑のワルツ マルケッティ
ケーゲルシュタットトリオ
モーツァルト ほか

4/29(土)

斎藤 洋 ピアノ

ユモレスク 変ト長調 作品101-7
ドヴォルジャーク
魅せられた妖精 レヴィツキー

ほか

4/30(日)

大曲高等学校合唱部

～歌の花束をあなたに Vol.8～

浜辺の歌 作詞 林古溪 作曲 成田為三
瑠璃色の地球 作詞 松本隆 作曲 平井夏美

ほか

13:30～14:10 (1回公演) コンサートは無料です

館内の展示をご覧いただく場合は観覧料が必要です。

ピアノのメンテナンスとコンサート継続のため募金箱を設置しております。ご協力いただけましたら幸いです。

マスクの着用、入館時の検温、手指消毒にご協力ください。

角館町平福記念美術館

秋田県仙北市角館町表町上丁4-4(武家屋敷通り) TEL 0187(54)3888

駐車場は美術館向かい大駐車場 をご利用ください。
(有料・1日500円)

主催 Otoを楽しむ会～古きピアノに樺のアート・プロジェクト～
お問い合わせ TEL 090(2989)2918 (安藤) 090(5233)6127(倉持)
メール ototano.kabapiano@gmail.com

公式ホームページ
<https://kabapiano.org/>

Twitter
<https://twitter.com/kabazaikupiano>

裏面もご覧ください >>



出演者プロフィール

伊藤 伸 ピアノ

秋田県横手市出身。桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業。
2005年、ローマで開催された International Music Festival でリサイタル出演。2006年、第12回フッペル平和祈念鳥栖ピアノコンクール コンチェルト部門第1位、併せてフッペルグランプリ受賞。ライプツィヒにて開催された Euro Arts Music Festival でコンサート出演、メンデルスゾーンハウスにて演奏。2007年、ライプツィヒにて開催された Euro Arts Music Festival でコンサート出演、シューマンハウスにて演奏。第76回日本音楽コンクール第3位。2009年、第78回日本音楽コンクール第1位、併せて野村賞、三宅賞、井口賞、河合賞、岩谷賞(聴衆賞)受賞。2014年、国民文化祭あきた2014で湯沢市にてピアノリサイタル出演。
これまでにNHK交響楽団首席奏者、モーツァルテウム管弦楽団員と室内楽共演。東京交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー管弦楽団、福岡室内合奏団、名古屋フィルハーモニー管弦楽団、横手フィルハーモニー管弦楽団と共演。

廣田 ちひろ ピアノ

桐朋学園大学音楽学部音楽学科卒業。第29回国民文化祭あきた2014 ピアノとオルガンの祭典あきた in アトリオン“6 PIANOS”、2015年 樺細工でよみがえった「奇跡のピアノ」コンサート、第17回ヤングアーチストリサイタル(東京オペラシティ)、音楽のまち“ゆざわ”月イチ♪コンサート他出演。これまでにピアノを石戸谷香子、大関陽子、須田真美子、山崎牧子、鈴木宏子、伊藤伸、各氏に師事。秋田大学教育文化学部非常勤講師。後進の指導にあたるほか、合唱団やソリストの伴奏者としても活動している。

北嶋 奏子 ヴァイオリン・ビオラ

新潟大学教育学部特別教科(音楽)ヴァイオリン専攻課程卒業。ヴァイオリンを加藤道子、伊藤浩史、天満敦子の各氏に師事。秋田市管弦楽団でコンサートマスターを務める他、県内外のオーケストラや室内楽にも多数出演している。またピアノトリオ「コレンテ」、弦楽四重奏『ブリーマクワレット』、ヴァイオリン・フルート・ピアノによるトリオ『ドルチェ』を結成し、各種コンサートのほか学校や病院など施設への訪問演奏を行っている。2009年には北秋田市文化会館、アトリオン音楽ホールに於いてソロリサイタルを開催。2008年木内音楽賞受賞。秋田市にてヴァイオリン教室を主宰。ヤマハ音楽教室講師。

安藤 満里 クラリネット

国立音楽大学器楽科クラリネット専攻卒業。桐朋学園大学音楽学部オーケストラ研究生として一年間学び帰郷。演奏活動並びに後進の指導を行っている。秋田県音楽療法研究会会員。Otoを楽しむ会ー古きピアノに樺のアートプロジェクトー代表。NPO法人おんぷの会会員。令和2年度木内音楽賞受賞。令和3年度仙北市芸術文化章受賞。

大谷 祥子 ピアノ

東京学芸大学教育学部D類音楽科卒業。アトリオン音楽ホールにおける6回のピアノリサイタルや「1時間コンサート」などのソロ活動をはじめ、秋田室内合奏団、秋田市管弦楽団とのピアノ協奏曲の協演や、ピアノトリオ「コレンテ」をはじめとする室内楽、様々なアーティストとの共演などの幅広い演奏活動を経て、現在は主に後進の指導にあたる。これまでに秋田市文化選奨、木内音楽賞を受賞。故菅原とし子、上原麗子、上原興隆の各氏に師事。秋田市保戸野にて大谷祥子ピアノ教室を主宰。秋田大学教育文化学部非常勤講師。秋田ゲーブハルト会会員。

斎藤 洋 ピアノ

武蔵野音楽大学卒業、同大学院音楽研究科修了。1985年、東京でリサイタル開催。87年より秋田市で12回のリサイタル、3回のデュオ・リサイタル(2台ピアノ)を開催の他、多くのコンサートに出演。2002年、中国遼寧省でリサイタル。2005年～11年に開催された8回のアトリオン・ピアノフェスティバルでは音楽プロデューサーを務めた。1995年秋田県芸術選奨、2004年木内音楽賞受賞。元・秋田大学教育文化学部准教授。

秋田県立大曲高等学校合唱部

「可能な限りどこへでも」をモットーに活動している私たち大曲高校合唱部。長く「どこへでも」というわけにはいかない状況が続きましたが、どんなときも笑顔で歌い通してきました。今年はこれまで以上に笑って歌う日々を過ごしたいと思います。そして、皆さまの心に届く歌を歌っていきたいと思います。

これからも地域に根ざした活動を大切に、地域の芸術文化の向上に微力ながら貢献できるよう、精進して参ります。皆様、応援よろしくお願いいたします。

奇跡のピアノ

1954年(昭和29年)秋、秋田県仙北郡神代村(現仙北市神代)小松小学校の子どもたちのために、村とPTAが協力して購入したピアノです。村の教育予算の7割にも当たる高価な物でした。2008年、学校改築に伴い廃棄される寸前に私たちとピアノは出会いました。“子ども達のために尽力してくれた先輩たちの想いを、ピアノの音色と共に仙北市に残したい” 傷んだ外装に伝統工芸の樺細工を貼りたいという私たちの願いを伝統工芸士の高橋正美さんが受け止めて下さり塗装は鍍金屋さんが、ピアノの運搬は友人たちが引き受けてくれました。角館出身のテノール歌手本田武久さんと秋田市出身のピアノニスト鳥井俊之さんが何度も資金集めの為にコンサートを開いてくださり、2010年3月大勢の方々の想いが一つになり、ピアノはよみがえりました。2010年より桜の時期にコンサートを開催しています。こうした活動により令和3年度秋田県芸術選奨特別賞を受賞しました。